



SASEBO WEEKLY

佐世保ロータリークラブ 会長・橋高 克和 幹事・石井 正剛
 事務所・佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
 例会場・佐世保玉屋8階 (毎週水曜日) TEL 0956-23-8181
<http://www.sasebo-rc.jp/> E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 21 年 7 月 29 日

第 2,896 回例会

NO 5

《本日》会員数 74名 (出席免除会員 21名) ・出席 41名 ・免除者出席 11名 ・欠席 12名 ・ビジター 0名 ・出席率 70.27%

《前々回》会員数 74名 (出席免除会員 21名) ・出席 32名 ・メイクアップ 21名 修正出席率 100.00%

会長挨拶

会長 橋高 克和 君

週末は凄い豪雨で、被害にあわれた皆さんに於かれましては大変な事とお察し申しあげます。市内の何箇所かでがけ崩れが起きておりまして、とりわけ瀬戸越町のがけ崩れでは、人災はなかったようで良かったのですが、ご存知のように突然の水道管の断裂による中里・大野・相浦地区などの給水ストップで大変なご苦勞をされているようです。



長崎県内で過去に大きな被害が発生しましたのを振り返りますと、昭和32年の諫早大水害では630名の尊い命が奪われ、昭和42年には当地の佐世保水害で日宇川が氾濫し29名が亡くなっております。昭和57年にはまだまだ皆さんの記憶に新しいと思いますが、長崎大水害で実に300名程の命が奪われました。7月下旬の雨は本当に怖いものだと改めて感じています。未だに梅雨明け宣言はありませんが、そろそろ明けて欲しいと念じております。

先週の例会は第5グループガバナー補佐をお迎えしてのクラブ協議会でしたが、西尾ガバナー補佐よりお礼状を頂戴しております。その中で、8月26日の高木ガバナーの公式訪問についても、くれぐれも出席依頼のお言葉がございましたので、どうぞ皆様ご予約をお願いします。

例会記録

○ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」

○卓話者

(財)佐世保地域文化事業財団
 理事長 深堀 寛治様

幹事報告

幹事 石井 正剛 君

1. 第2740地区 ガバナー事務所

クラブ事務所移転のお知らせ

大村ロータリークラブ

大村市東三城町12-1

TEL 0957-42-6192 FAX 0957-42-6193

2. 長崎国際大学ローターアクトクラブ

会長 仲野 優さん

村上和哉地区代表公式訪問例会のご案内

日時/平成21年8月12日(水) 20:00～

21:30～ 理事懇談会

場所/ハウステンボスジェイアール全日空ホテル

登録料/1,500円

3. 海上自衛隊佐世保地方総監部

機関紙「西海」が届いております。

委員会報告

新世代担当理事 有蘭 良太 君

7月22日(水)、新世代合同委員会を開催しました。IAC(西海学園)顧問の林田先生、原口先生と菅沼校長先生、RAC(長崎国際大学)顧問の溝越先生、当クラブから15名が参加し、IACとRACの現状報告と今年度の活動内容の報告をお伺いしました。



ニコニコボックス

親睦活動委員会 委員長 古賀 巖 君

橋高 克和 会長、石井 正剛 幹事
円田 浩司 副幹事、古賀 巖 君
梅村 良輔 君、立石 徳雄 君
中島 祥一 君、藤井 隆 君
福田 金治 君、金氏嘉一郎 君
井手 常博 君、米倉洋一郎 君
才木 邦夫 君、長島 正 君
大神 邦明 君、木村 公康 君
富永 雅弘 君、川富 正弘 君
佐々木秀也 君、溝口 尚則 君
有蘭 良太 君、円田 昭 君
加納洋二郎 君、芹野 隆英 君
遠田 公夫 君、増本 一也 君

深堀さんの卓話に大いに期待してニコニコ致します。



ニコニコボックス 本日合計 26,000円
累 計 150,000円

卓 話

『アルカスSASEBOの目指すもの』

(財)佐世保地域文化事業財団 理事長 深堀 寛治 様



佐世保市は、西九州北部地域における文化、経済などに重要な位置を占めており、それにふさわしい県北地域の中心都市としての機能充実を目指し、佐世保駅周辺一帯の再開発(レインボープロジェクトなど)に取り組んできた。そのリーディングプロジェクトの一環を担い、再開発の中核となり賑わいを醸成し、さらに地域の文化、経済の振興を図る拠点となる施設として、長崎県と佐世保市が一体となって、この再開発地域の中心地に県民文化ホール・地域交流センターとして建設された。

■施設の概要

名 称：シーサイドホール・アルカスさせぼ
(愛称 アルカスSASEBO)

建物の概要：地上6階、地下1階

敷地面積 10,453㎡

建設延べ面積 22,598㎡

建設工事費 152億円

■沿革

平成10年1月28日 起工式

平成11年5月10日 愛称が「アルカスSASEBO」に決定

平成11年11月15日 「財団法人 佐世保地域文化事業財団」設立

平成13年2月18日 落成式

平成18年4月1日 佐世保市より指定管理者の指定

■“アルカス”の名称について

ギリシャ神話にある母と子の物語に登場する子どもの名前で、その母と子は大熊座(北斗七星)と小熊座になったと言われている。

■財団法人佐世保地域文化事業財団について

長崎県と佐世保市の共同事業として、地域における文化の創造と、地域の活性化を活動の軸に誕生した施設の維持管理と芸術文化の鑑賞機会の提供及び育成・普及などの地域文化活動の活性化を目指して佐世保市が設立した。

財団の管理運営基本方針

1. 多彩な文化を取り込み、独自の文化を構築
2. 地域における文化活動を担う人材の育成
3. 市民に開かれた事業の展開
4. 多機能な施設を活用した交流の促進

財団の事業について

平成18年度より指定管理者の指定を受け、施設の管理業務と事業展開を行っている。

(管理業務)

○施設全体の管理及び施設利用受付業務

総合施設管理業務、舞台操作等業務、警備業務、清掃業務等を行うと共に、休館日を除き毎日10時から18時30分の間、施設の空き状況の照会、仮予約、本予約、料金の収受などを行っている。

○アルカスクラブ

公演を多くの方に楽しんでいただくため、会員制度を設けている。個人会員はホワイト、オレンジ、ゴールドの3種類で、それぞれの特典がセットされている。また法人会員制度もある。

○経理事務

一般会計、事業会計、友の会会計に分け、業務分担を決め処理を行っている。

(事業展開)

○自主・共催事業

優れた音楽や舞台芸術の鑑賞をホールの特性や地域のニーズを考えて提供する「鑑賞事業」と、市民が自ら文化の創造

に積極的に関わりを持つ「市民参加型事業」に大別して事業展開している。さらに、「市民参加型事業」を普及・育成・交流・創造の4つに分け実施し、地域に根ざした親しまれる文化ホールとして効率的な運営を図る努力をしている。

○鑑賞事業 (33本)

アンケートなど様々な要望に応えるべくホールの特性を生かした魅力的で芸術性の高いオーケストラ、オペラ、室内楽、ポップス、落語など予定。

大ホール (19本)

秋元順子、JAYWALK、新日本フィル、プラハ国立歌劇場オペラなど。

中ホール (8本)

ピアノリサイタル、映画祭、フランス歌曲など。

イベントホール (6本)

新春寄席、ジャズライブなど。

○市民参加型事業 (20本)

育て、楽しむホールとして幅広い市民の文化活動を支援すると共に、開館10周年の節目にあたる、平成22年度に向けた事業も視野に入れ実施する。

普及事業

フレッシュコンサート
3歳からのクラシック

育成事業

ジュニアヴァイオリンセミナー
ヴァイオリンセミナー
オペラセミナー
アルカス劇団さーくる

交流事業

子ども茶道教室
アートと遊ぶ
アルカス音楽祭

創造事業

開館10周年企画「市民ミュージカル」
(平成22年公演)

○施設提供事業

コンベンション等の誘致活動

○市民活動支援事業

ホールボランティアとして落成記念式典から活動を開始、自ら愛称をサーブと名付け、主にチケットのもぎり、プログラムの配布、客席への案内など公演運営にあたっている。

○友の会事業

会員数は現在約3,000名で、定期的にアンケートを実施、希望のジャンルやご希望をホール運営改善に反映。会員には、より早く新着情報をお届けし、アルカスNEWSを発行日より早く公演チラシと一緒に郵送している。

○備考

佐世保市内の他の公共施設と異なり、「教育施設」ではなく、全国的に見ても利用率はかなり高い水準にある。

■公立文化施設に求められるもの

1. 使命の確立
2. 活動及び事業の再検討
3. プロフェッショナルによる運営
4. 文化を蓄積する仕掛けの構築
5. 安定的な運営が可能な施設の維持管理の実践

■今後の展望

- ① 地域の文化、経済の振興を図る拠点として、施設の評価を高め、利用者を増やすための新たな取り組み。
- ② ホールでの公演に関心がない人にも、その魅力を伝える企画。
- ③ 観る人も、演ずる人も負担しあう市民参加（協働）型事業の推進。
- ④ 指定管理料以外に自主財源を拡げるための資金源開拓。
- ⑤ 環境の変化に対応できる人材の育成。



次回例会予告

卓話 会員 才木 邦夫君
「異常死の死因解明充実を」

(今週の担当 平尾 幸一)

クラブ会報委員会

委員長 芹野 隆英
副委員長 平尾 幸一

委員 池田 誠・小川 芳寛
納所 佳民